2021 年 1 月 19 日（火）

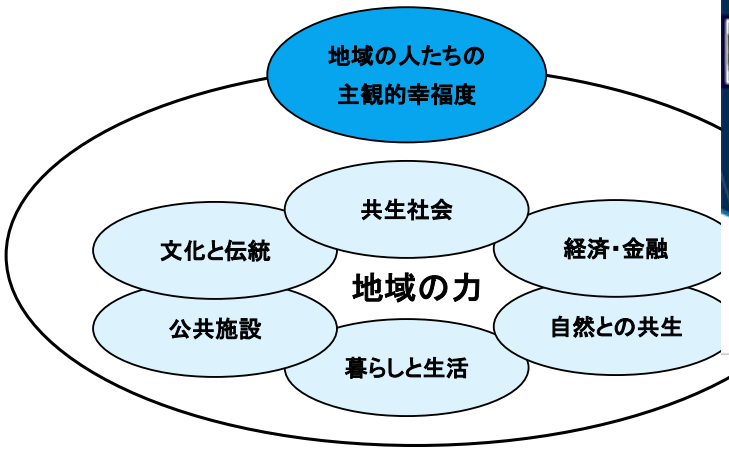
第2回コミュニティー・インディケーター・フォーラム
「目標・指標を活用した参加型の地域づくり」
～CICインパクト・サミット報告～

1. 趣旨説明・CI-Labの活動紹介
2. CICインパクト・サミットの概要
3. CIC インパクト・サミット報告
   ③ コミュニティレジリエンス：レジリエンスをどう測るか（市川享子）
   ④ コロナ時代の指標活用アイディア（山本真穂）
4. 黒部市の取り組み「5GOALS for 黒部」進捗報告：指標策定方法（小柴徳明）
5. 質疑応答・ディスカッション
6. 今後のお知らせ

本事業は、国際交流基金日米センター(CGP)より
2019年度・2020年度、助成をいただき実施しています。

1-1. 趣旨説明にかえて。。

福島県二本松市東和地区 大豆なプログラム



「地域の力」診断ツール：地域指標

「キラリ＊牧之原の未来が見えるお話カフェ」最終回：
ワークショップ「地域の力、市民の力」(2018.2)

5 goals for 黒部 策定委員会(2019.2)

1-2. CI-Lab：Community Indicators Lab（シーアイラボ）

CI-Labo は、参加型による地域の「見える化」で住民が主体となる地域づくりの調査・研究・実践を応援します

地域の風土や社会の構造に同じものはありません。だからこそ、そこで暮らす地域の方々による目標や指標をつくり、課題の解決に向けてみんなで動いていくことが大切です。

■Our Value

1. 地域に必要な情報を、分かりやすく、アクセスしやすい形で、発信します。

2. データと市民の力のかけ合わせを促進し、地域への参加を増やします。

3. 住民主体の地域づくりを推進する人材を育成します。

CI-Laboチラシ：https://www.csonj.org/images/CI-Labo_2020.5.pdf

1-3. 日本の地域の現状とCI-Labが目指す地域づくりモデル

ニーズの増加

＋

地域社会の可視化

黒部市地域福祉活動計画策定委員会
(2019.2)

参加型の地域社会

将来ビジョンの共有：
目標・指標

黒部市福祉丸ごと合同相談会(2019.12)

担い手の減少

1-4. CI-Lab：Community Indicators Lab（シーアイラボ）の活動

■Our Work – CI-Labo の活動紹介

■活動支援

「黒部市地域福祉活動計画」推進をサポート

黒部市社会福祉協議会では、「黒部の福祉を良くする活動計画～第３次黒部市地域福祉活動計画」を地域目標「5 GOALS for 黒部」として参加型で策定。より多くの人にわかりやすく伝えるため、地域データや地域活動の可視化を盛り込んだウェブサイト構築を支援しました。今後は参加型で地域指標をつくり、目標達成への進捗状況を可視化していく予定です。

■調査・情報発信

米国の地域指標専門家によるフォーラム開催

2020 年 1 月、地域の課題・目標・指標を可視化し、持続可能な地域づくりを進めている米国コミュニティ・インディケーター・コンソーシアム（Community Indicators Consortium：CIC）関係者を日本に招聘し、地域指標による地域づくりについて学ぶフォーラムを横浜市と黒部市で開催しました。

CI-Labo：Community Indicators Labo（シーアイラボ）

▶ 連 絡 先　〒169-0051　東京都新宿区西早稲田 2-3-18　アバコビル 5F
一般財団法人 CSO ネットワーク内（担当：長谷川雅子）
【Tel】03-3202-8188　【Email】office@csonj.org

▶メンバー　小柴徳明（黒部市社会福祉協議会）、鎌倉幸子（かまくらさちこ株式会社）、牟田光生（NPO 法人教育研究所）
宮下真美（日本ファンドレイジング協会）、長谷川雅子（CSO ネットワーク）

CI-Laboチラシ：https://www.csonj.org/images/CI-Labo_2020.5.pdf

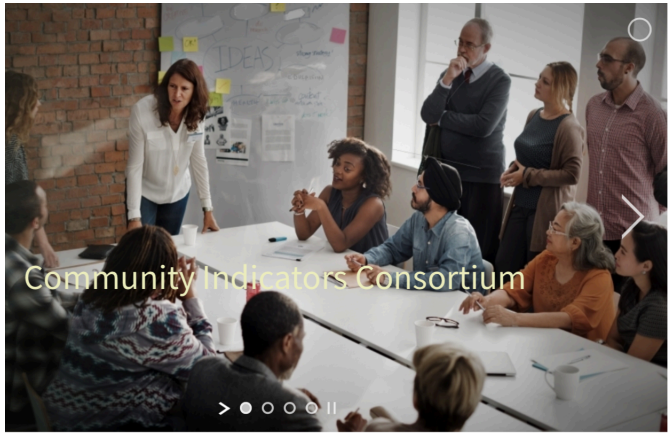
2-1. Community Indicators Consortium
（コミュニティ指標の緩やかなネットワーク）

＜概要＞

- **コミュニティに関する指標の効果的な活用やその開発・普及のサポート**を通して、地域住民の生活の質の持続的向上の側面支援を行なっている非営利組織

- 米国を拠点として2005年発足。ネットワークのメンバーは、米国、カナダ・オーストラリア等の**自治体、NPO、研究者**等

- 年次大会を開催し、行政、NPO、シンクタンク、研究者、財団、データ関係者等毎年200名以上が参加。



Community Indicators Consortium

CIC's URL: https://communityindicators.net/2019-impact-summit/

2-2. CIC招聘セミナー（2020年1月）

地域スポーツ

先進事例を学び
地域の福祉考える
フォーラムに100人

黒部

地域の福祉活動を考える「『5GOALS for 黒部』推進フォーラム『見える化』しよう くろべのふくし」が18日、黒部市のホテルアクア黒部で開かれた。約100人が地元福祉団体の取り組みや課題に理解を深めた。

同市の福祉団体などは、国連の持続可能な社会を目指す開発目標「SDGs」に倣い、地元の福祉を良くするための五つの目標「5GOALS」を設定し、活動人口を増やすなどのビジョンを掲げている。

今回、他国の先進事例などを学び、黒部の福祉の今後の可能性に生かそうと同市社会福祉協議会などが企画。同協議会の小柴徳明さ

地域の福祉に理解を深めたフォーラム

cic Community Indicators Consortium

一般財団法人 CSOネットワーク
CSO Network Japan

～横浜市立大学エクステンション講座～

地域指標を活用した住民参画型の持続可能な地域づくり

米国からの学びと日本の挑戦

SDGs（持続可能な開発目標）の地域への応用として、地域課題を踏まえた地域目標策定の動きが始まっています。地域での取り組みを進めるためには、課題や目標を地域内で共有し、成果指標など取り組みの可視化が有効であり、参画を促す仕組みが重要だと思われます。

本講座では、米国を中心に指標を活用した地域づくりを推進している“コミュニティ・インディケーター・コンソーシアム”によるウェブサイトを活用した参画型プログラムを紹介し日本における同種の取り組みの可能性を議論します。

日時 2020年 1 月 16 日 木
14:30～16:30

会場 横浜市立大学 金沢八景キャンパス
横浜市金沢区瀬戸22-2
（アクセス）京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分
https://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei_campusmap.html

定員 100 名 ※同時通訳あり

受講料 2,300 円 （横浜市立大学の卒業生は割引になります）

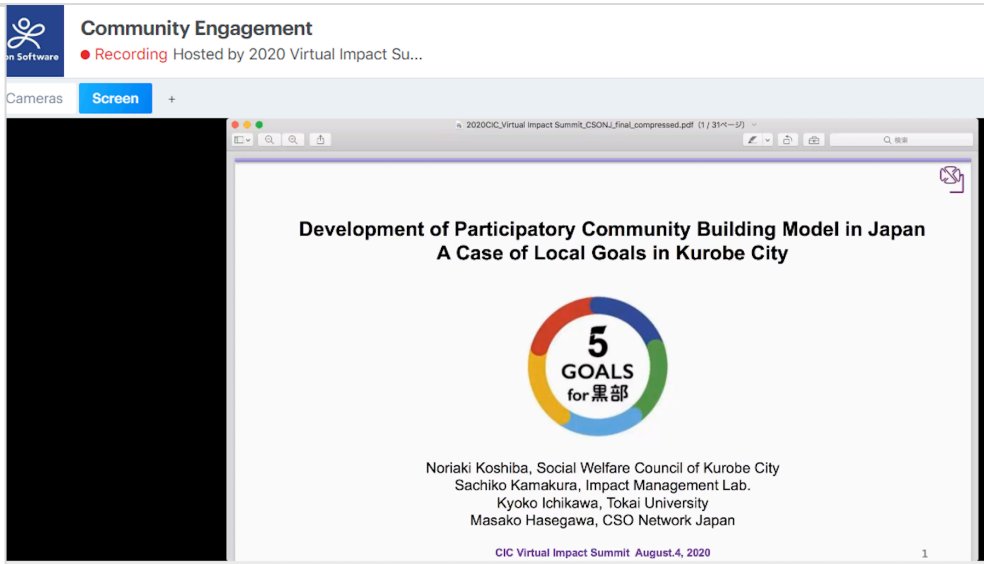
お問い合わせ・お申込み

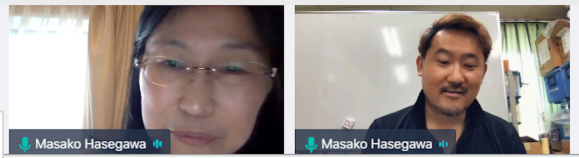
以下のウェブサイト、もしくはお電話（045-787-8930）、FAX（045-701-4338）にてお申し込み、お問い合わせ下さい
https://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/lib/20200116chiikisdgs.html

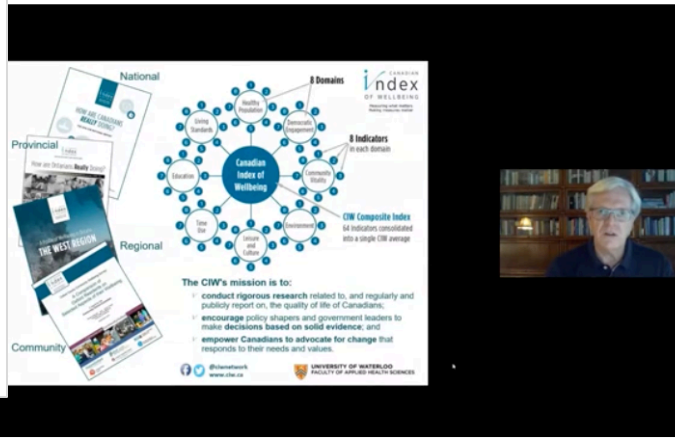
企画監修：影山摩子弥（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授）
主催：横浜市立大学地域貢献センター
共催：一般財団法人CSOネットワーク
助成：国際交流基金　日米センター（CGP）
後援：横浜市政策局

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2-3. CIC Impact Summit（2020年8月5-8日）







2-4. CIC Impact Summit（2020年8月5-8日）

今回のテーマ：ローカルレベルのレジリエンスをつくり支える コミュニティデータの役割とは

CIC Impact Summit Program（CICインパクトサミットプログラム）			
8月5日	1:00-2:00	Keynote: Angela Glover Blackwell	
	2:00-5:00	Place-based funders（9）	
	5:00-7:00	Community Engagement（4）	取り組み発表 12/15報告①
8月6日	1:00-4:00	Children & Youth（8）	12/15報告②
	4:00-7:00	Community Resilience（9）	本日報告③
8月7日	1:00-4:00	Health & Wellbeing（6）	本日報告④
	4:00-5:30	Equity in Data & Policy（4）	
	5:30-7:00	Focus on SDGs（4）	
8月8日	1:00-2:00	CIC Impact Awards（4）	12/15報告②
	2:00-3:30	Data Tools (Pecha Kucha)（7）	本日報告④
	3:30-5:00	Quality-of-Life Indicators	
	5:00-6:00	Closing Panel	

ご静聴ありがとうございました

一般財団法人 CSOネットワーク
CSO Network Japan

事務局長・理事
長谷川雅子
mhasegawa@csonj.org

CIC Impact Summit報告
次回のお知らせ:3月日()午後2時～3時半

CIC Impact Summit Program（CICインパクトサミットプログラム）			
8月5日	1:00-2:00	Keynote: Angela Glover Blackwell	
	2:00-5:00	Place-based funders（9）	
	5:00-7:00	Community Engagement（4）	取り組み発表 本日報告
8月6日	1:00-4:00	Children & Youth（8）	本日報告
	4:00-7:00	Community Resilience（9）	1/19報告予定
8月7日	1:00-4:00	Health & Wellbeing（6）	
	4:00-5:30	Equity in Data & Policy（4）	
	5:30-7:00	Focus on SDGs（4）	
8月8日	1:00-2:00	CIC Impact Awards（4）	本日報告
	2:00-3:30	Data Tools (Pecha Kucha)（7）	1/19報告予定
	3:30-5:00	Quality-of-Life Indicators	
	5:00-6:00	Closing Panel	